



WEB はウェブサイトのみに掲載している記事を示しています。

▶ 高速道路ネットワークの整備と機能向上

新たな高速道路ネットワークの整備

- ▶ [各地域を結び、自動車交通の混雑緩和や地域間の連携強化に寄与しています](#) **WEB**

スマートICの整備

- ▶ [松茂、今川、上毛の3カ所で新たにスマートICを整備しました](#) **WEB**

▶ 災害対応力の強化

防災体制

- ▶ [道路機能を迅速に回復できる体制の構築を進めています](#)
- ▶ [南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき、被害想定箇所への資機材等の備蓄を強化しました](#) **WEB**

地域・他機関との連携

- ▶ [包括協定・災害協力協定・連携協定に基づく連携強化を図っています](#)

防災訓練

- ▶ [関係機関と連携し、実践的な訓練を実施しています](#)

▶ 海外での新たな価値の創造

技術・ノウハウの活用による事業の展開

- ▶ [インドネシアでの道路PPP事業に参画しました](#)
- ▶ [米国に設立した子会社において、橋梁の健全度調査などさまざまな事業を推進しています](#) **WEB**
- ▶ [海外事業拡大に向けた各種調査を実施しています](#) **WEB**

人材育成・技術移転を通じた国際貢献

- ▶ [毎年100名以上の海外研修生を受け入れています](#) **WEB**

国内道路事業とのシナジーの追求

- ▶ [国内道路事業とのシナジーの追求](#) **WEB**

▶ ノウハウを活かした新たな事業

高速道路管理のノウハウを活かした業務受託

- ▶ [地方自治体等が管理する道路で、交通管理や構造物・設備の管理・保守・点検を受託しています](#) **WEB**

グループの資産・人材を活用した地域貢献

- ▶ [高知県大豊町の観光施設で指定管理者事業、農業事業を行っています](#) **WEB**

一般有料道路の運営事業への参画

- ▶ [NEXCOが保有している維持管理ノウハウで作業を効率化しています\(芦有ドライブウェイ\(株\)\)](#) **WEB**



社会

高速道路ネットワークの整備と機能向上

高速道路は、国民生活を豊かにし、経済活動を支える重要な社会資本です。真に必要な道路ネットワークを計画的かつ着実に整備していくことで、輸送コストの削減や、交通事故の減少、バランスのとれた地域社会の発展に貢献していきます。

新たな高速道路ネットワークの整備

各地域を結び、自動車交通の混雑緩和や地域間の連携強化に寄与しています

高速道路ネットワークの整備は、自動車交通の混雑緩和や、地域間の交流・連携の強化につながります。NEXCO西日本は、[高速道路機構](#) と締結した協定に基づき、高速道路ネットワークの整備促進に努めています。

2014年度は、2014年12月13日に東九州自動車道の行橋IC～みやこ豊津IC間7km、2015年3月1日に豊前IC～宇佐IC間21kmと、2015年3月14日に、徳島自動車道の鳴門JCT～徳島IC間11kmが、それぞれ開通しました。広域的なネットワークの形成によってアクセスの向上が図られ、一般国道を利用した場合と比較した所要時間の短縮、[第三次医療機関](#) への搬送時間の短縮による救急医療活動への貢献、地域産業の活性化への貢献などが期待されています。

▼2010～2014年度 開通区間

年度	開通区間	延長
2010年度	東九州道 門川～日向	14km
	東九州道 高鍋～西都	12km
	岡山道 総社PA～賀陽(四車線化)	5km
2011年度	舞鶴若狭道 小浜西～小浜	11km
	阪和道 海南～有田(四車線化)	10km
	米子道 久世～上野PA(四車線化)	4km
2012年度	東九州道 都農～高鍋	13km
2013年度	京都縦貫道 沓掛～大山崎JCT	10km
	東九州道 苅田北九州空港～行橋	9km
	東九州道 日向～都農	20km
2014年度	徳島道 鳴門JCT～徳島	11km
	東九州道 行橋～みやこ豊津	7km
	東九州道 豊前～宇佐	21km

▼2015年度以降の開通予定 ※1

年度	開通区間	延長
2016年度	新名神 城陽JCT～八幡JCT	4km
	東九州道 椎田南～豊前※2	7km
2018年度	新名神 高槻JCT～神戸JCT※3	40km
	高松道 鳴門～高松市境(四車線化)	52km

	長崎道 長崎芒塚～長崎多良見(四車線化)	8km
2019年度	徳島道 徳島東～徳島JCT	4km
2020年度	播磨道 播磨新宮～山崎JCT	12km
	舞鶴若狭道 福知山～綾部(四車線化)	10km
	舞鶴若狭道 綾部PA～舞鶴西(四車線化)	5km
2021年度	湯浅御坊道路 御坊～有田(四車線化)	19km
2023年度	新名神 大津JCT～城陽JCT	25km
	新名神 八幡JCT～高槻JCT	10km

(注)事業中区間のIC-JCT名称は仮称

※1 高速道路機構との協定に基づく

※2 会社努力目標は2016年春

※3 会社努力目標は2016年度

関連ページ

▶ [特集3「高速道路ネットワークの整備」](#)

スマートICの整備

松茂、今川、上毛の3カ所で新たにスマートICを整備しました

高速道路の利便性を向上させるため、[スマートIC](#) の整備を進めています。スマートICとは、[ETC](#) 専用の簡易なインターチェンジのことで、ETC搭載車以外は出入りできないものの、一般道路からのアクセス経路が増え、高速道路がさらに利用しやすくなります。

2014年度には、松茂(徳島道)、今川(東九州道)、上毛(東九州道)の3カ所で新たにスマートICが開通し、計12カ所となりました。現在、さらに19カ所の整備に着手しています。

▼今川スマートIC(東九州道)

2014年12月13日開通



▼夢前スマートIC(中国道)

2015年度開通



▼開通したスマートIC

年度	スマートIC	設置数
2009年度	土佐PA(高知県)、宮島(山陽道) 府中湖(高松道)、別府湾(下り)(大分道)	4カ所

2010年度	宮田(九州道)	1カ所
2011年度	大山高原(米子道)	1カ所
2012年度	大和まほろば【名古屋方面】(西名阪道)	1カ所
2013年度	蒲生(名神)、大和まほろば【大阪方面】(西名阪道)、宇城氷川(九州道)	3カ所
2014年度	松茂(徳島道)、今川(東九州道)、上毛(東九州道)	3カ所

▼スマートICの設置予定 ※1

完成予定年度	スマートIC	設置数
2015年度	夢前(中国道)、北熊本(九州道)、城南(九州道)	3カ所
2016年度	山之口SA(宮崎道)、由布岳PA(大分道)、門川南(東九州道)	3カ所
2017年度	木場(長崎道)、小城PA(長崎道)、福山SA(山陽道)、桜島SA(九州道)、沼田(山陽道)、別府湾(上り線)(大分道)	6カ所
2018年度	宝塚北※2(新名神)、和歌山南(阪和道)、人吉球磨(九州道)	3カ所
2019年度	国富(東九州道)、湯田PA(中国道)、中山(松山道)	3カ所
2023年度	新名神大津(新名神)	1カ所

(注)スマートIC名称および未開通区間の道路名は仮称

※1 [高速道路機構](#) との協定に基づく

※2 事業中の本線と同時供用



社会 災害対応力の強化

高速道路への国民の信頼に応えるため、「想定を超えた広範囲の激甚災害」にも対応できる仕組みを構築します。発災時には速やかに高速道路機能を回復し、被災地域の救急・復旧・復興に貢献します。防災対策をより実効性の高いものへ逐次見直し、不断の努力を続けていきます。

防災体制

道路機能を迅速に回復できる体制の構築を進めています

高速道路の早期復旧にあたっては、情報の収集・発信拠点となる「災害対策本部」を災害規模に応じて設置し、本部を中心に指揮統制の取れた体制を構築することが重要です。そこで、訓練等によって得られた課題についての対策を講じるなど、災害対応計画を継続的に見直しています。

また、災害発生時の復旧作業で必要となる、交通規制材や土のうなどの資機材の備蓄強化にも努めています。さらに、地域の建設会社などと、応急復旧についての協力協定を締結するなどの取り組みも進めています。

2014年度は、災害時に一般電話等が途絶した場合に備え、震度6強および津波浸水が想定される地域の本社・支社・事務所・休憩施設・料金所等の拠点に衛星携帯電話を約300台配備しました。また、被害状況の早期把握を目指して、民間ヘリ会社と契約を締結しました。

南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき、被害想定箇所への資機材等の備蓄を強化しました

東日本大震災の教訓を踏まえ、津波被害が想定される地区では非常用自家発電設備の燃料備蓄を7日間分に増やす計画を策定し、2014年度までに112カ所全ての対応を完了しました。また、一時退避されたお客さまに対する食糧、水、衛生用品などの防災備蓄について、震度5強が想定される232カ所のうち226カ所の休憩施設に配備を完了しました。2015年度、休憩所への防災備蓄の残り6カ所への整備を行います。

2015年度も引き続き、災害対応計画に基づき、道路被害箇所の段差修正等、応急復旧に必要な資機材の把握に努めます。

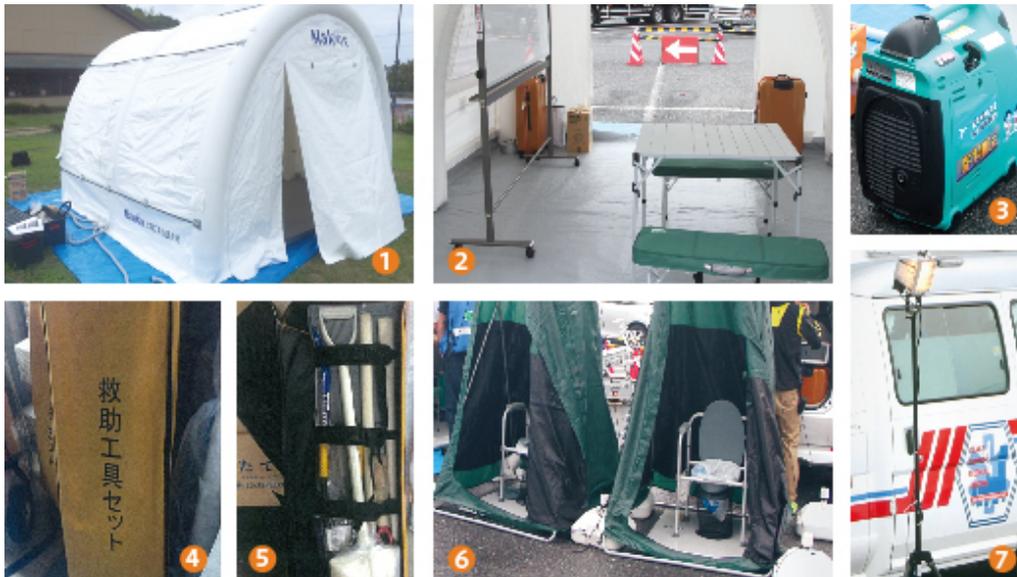
▼備蓄する資機材の一覧

種別	備蓄する資機材	備蓄する施設数(箇所数)	箇所あたりの備蓄量
最低限の衛生用品・食糧・水	携帯トイレ	234	240～3200枚※
	トイレ利用キット	234	2～3セット
	毛布	234	40～500人分※
	おむつ	234	70～540枚※
	生理用品	234	48～384枚※
	ゴミ袋	234	40～540枚※
	非常食	151	120～1080食※
	飲料水	151	240～2136食※

ライフライン ☐ の寸断を想定	備蓄倉庫	234	1台
	発電機	234	1台
	投光機	234	1台
	コードリール	234	1台
	石油ストーブ	234	1台
	燃料缶詰	234	ガソリン:4缶 軽油:4缶
建物被害	大型テント	11	1張
	救出工具キット	87	1セット

※休憩施設の駐車スペース数により備蓄量を決定しているため、エリアにより備蓄量は異なります

▼備蓄する資機材の例



- ① 大型テント 外観
- ② 大型テント 内部
- ③ 発電機
- ④ 救急工具キット 外観
- ⑤ 救急工具キット 内部
- ⑥ トイレ利用キット
- ⑦ 投光器

地域・他機関との連携

包括協定 ☐ ・災害協力協定・連携協定に基づく連携強化を図っています

地域住民の安全・安心の向上を図るため、地震など大規模災害時の相互協力を定めた災害協力協定 ☐ を、2012年5月末までに西日本の全24府県と締結しています。

また、大規模災害時の迅速な緊急交通路確保と連携した被災地支援を目的に、陸上自衛隊と連携協定 ☐ を締結するとともに、具体的な連携内容の調整、合同訓練等に取り組んでいます。加えて、自衛隊が保有するヘリコプターからの映像を活用する協定を締結するなど、災害時に備えた連携強化も進めています。2014年度は、地震によって段差が発生したと想定した段差補修訓練を関係機関と共同で実施しました。

▼自治体と協定を結んだ一時避難場所

年月	自治体	一時避難場所	
2011年8月	徳島県・徳島市	徳島道	徳島IC～鳴門JCT
2012年4月	西都市・新富町	東九州道	西都IC付近

2012年7月	高鍋町	東九州道	高鍋IC～都農IC
2012年7月	須崎市	高知道	須崎東料金所
2012年9月	観音寺市	高松道	豊浜SA
2012年9月	日向市	東九州道	日向IC～都農IC
2012年11月	門川町	東九州道	門川IC
2013年11月	金武町	沖縄道	伊芸SA
2014年2月	徳島市	徳島道	徳島IC
2014年2月	徳島県・徳島市・鳴門市・ 松茂町・北島町	徳島道	徳島IC～鳴門JCT
2014年9月	みなべ町	阪和道	みなべIC

社外コメント



和歌山県みなべ町
総務課
尾崎 聡 様

みなべICを津波避難場所とする協定で 住民の安全が確保できました

みなべ町とNEXCO西日本は、2014年9月に、「緊急津波避難における高速道路区域の一部使用に関する協定」を結びました。

阪和自動車道みなべIC付近は南海トラフ地震の津波で5m未満の浸水が想定されていますが、周囲に高台がありません。協定によって、みなべICの駐車場を避難場所として使用できるようになったことで、住民の安心・安全が大いに高まりました。2015年1月には、NEXCO西日本の皆さまにご協力をいただき、みなべICへの津波避難訓練を実施することができました。

みなべIC近くに一部残る津波避難困難区域の解消に向けた検討についても、ご協力をいただければと期待しています。

防災訓練

関係機関と連携し、実践的な訓練を実施しています

地震など自然災害の発生時に迅速かつ的確な対応ができるよう、グループ全体や関係機関と計画的に防災訓練を実施しています。

2014年度は関係機関と連携した実動訓練を実施し、社内訓練では、本社・支社間の連携の確認および課題抽出を行うため、吹田社屋において総合防災訓練を実施しました。

また、一時避難場所の協定を締結している阪和自動車道みなべICや徳島自動車道沿線地域等において、周辺住民が参加した一時避難訓練を自治体等と共同で実施しました。

2015年度も引き続き、関係機関と連携した訓練を実施しながら、課題抽出および改善等に取り組み実効性のある体制の構築に取り組んでいきます。

2014年度総合防災訓練 参加組織(2014年9月1日実施)

- 災害対策本部訓練
陸上自衛隊、近畿地方整備局、阪神高速道路(株)
- 段差修正実動訓練
陸上自衛隊、警察、消防、NEXCO西日本メンテナンス関西

●休憩施設防災備蓄品組立訓練

NEXCO西日本サービスホールディングス、テナント1社

●岸和田SA内負傷者救護訓練(ドクターヘリ離着陸)

大阪・和歌山災害派遣医療チーム(DMAT [DMAT](#))

2014年度津波一時避難訓練 実績

- ・東九州自動車道 日向市(2014年10月19日)
- ・高知自動車道 須崎市(2014年12月21日)
- ・阪和自動車道 みなべ町(2014年1月25日)
- ・徳島自動車道 鳴門市(2015年3月7日)

総合防災訓練 段差修正訓練



土のうによる段差修正



修正した段差を走行する車両

総合防災訓練 負傷者救護訓練(岸和田SA)



ドクターヘリによる負傷者搬送訓練



訓練に参加したDMATチーム

津波一時避難訓練(和歌山県みなべ町)



みなべICに移動する訓練参加者



みなべICに集合した訓練参加者

津波一時避難訓練(徳島県鳴門市)



開通前の徳島道での避難訓練の様子





社会 海外での新たな価値の創造

NEXCO西日本グループビジョンである「自立」と「成長」を実現するため、海外道路事業へ参画し、企業競争力の向上、新たな価値の創造に挑戦しています。また、高速道路の建設、維持管理に関する当社グループのノウハウや技術力、人材などを海外で活用することにより、現地のインフラ整備と海外技術の国内事業へのフィードバックを図っています。



ジャカルタの渋滞

海外道路PPP事業の
案件形成



インドネシア



メリーランド州 道路橋の点検

非破壊検査技術を
活用した点検等業務



アメリカ

インドネシア駐在員事務所

NEXCO-West USA, Inc.

開発途上国の高速道路開発を
支援するコンサルティング事業を展開



フィリピン



インドネシア



ザンビア



フィリピン 品質向上のための
技術アドバイス

技術・ノウハウの活用による事業の展開

インドネシアでの道路PPP事業に参画しました

2011年に設置した駐在員事務所を拠点に営業活動を進めてきた結果、2014年11月、日本の高速道路会社として初めてジャカルタ近郊のビンタロースルポン道路(7.25km)の有料道路を運営する現地企業の株式を一部取得する契約を締結し、海外道路PPP事業※に参画しました。

今後、現地企業とのパートナーシップを通じ、当社グループの高速道路の運用経験、ノウハウを活用し、現地のニーズに即した技術アドバイスなどを行うことで、インドネシアにおける本格的な有料道路事業参画の足掛かりとしていきます。

※PPP事業(Public Private Partnership 官民連携): 民間の資金や経営・技術力などのノウハウを活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る事業手法。

▼インドネシア・ジャカルタ近郊の地図



ビンタロー スルボン道路全景



ポンドックアレン料金所

社外コメント



ヌサンタラ インフラ
ストラクチャー社
アドリアント
ジャニユリ様

インドネシアのインフラ企業
リーディングカンパニーを目指して

NEXCO西日本と弊社は、相互技術力の向上を目指した取引を通じて、関係を構築することができました。NEXCO西日本は、日本の高速道路ネットワークの発展に50年以上の間、貢献されております。

インフラにとって最も大切なことは、いつでも利用できる状態にしておくことです。NEXCO西日本の先進的なテクノロジーと適切な技術的な助言により、弊社グループの高速道路の水準が向上することで、ご利用されるお客さまに対して安全でかつ信頼できる高速道路の走行環境をご提供できるようになり、これを通じて、インドネシア共和国の発展に貢献してまいります。

米国に設立した子会社において、橋梁の健全度調査などさまざまな事業を推進しています

2011年1月に米国ワシントンD.Cに設立したNEXCO-West USA, Inc. は、ハイビジョンカメラや赤外線カメラを用いた [非破壊検査](#) 点検事業に取り組んでいます。あわせて実施している情報収集コンサルティングは国内外で高く評価されています。

現在、2012年度に受注したインディアナ州の橋脚点検業務をはじめ、フロリダ州のモノレール橋の点検、オハイオ州道路橋オーバーレイ層付着健全度調査など、着実に実績を積み重ねています。今後も、情報コンサルティングに取り組むとともに、地元企業との連携を推進していきます。同時に、橋梁モニタリングおよび健全度評価方法等の研究を行っているセントラル・フロリダ大学チャットバス教授との共同研究を通じ、先進技術のノウハウの蓄積と事業基盤の確立を目指します。



インディアナ州 橋梁点検



オハイオ州道路橋 車両による夜間点検



セントラル・フロリダ大学との共同研究に基づくフロリダ州道路橋の点検

海外事業拡大に向けた各種調査を実施しています

インドネシアでは、経済産業省が募集したインドネシアにおける[PPPインフラ事業](#)への参画に向けた事業の妥当性、効率性に関する事前調査である「マカッサル環状道路事業化調査」および「マカッサル高度交通システム導入調査」を実施しました。

また、JICA(国際協力機構)が募集したフィリピンにおける「道路・橋梁の建設・維持に係る品質管理向上プロジェクト」に参加し、現在は、ザンビアにおける「橋梁維持管理能力向上プロジェクト」を実施しています。

これらの調査を実施することによって、コンサルタント業務の受注や他のビジネスフィールドに事業を拡大する契機となるよう取り組んでいます。



インドネシア公共事業省道路総局とのミーティング

人材育成・技術移転を通じた国際貢献

毎年100名以上の海外研修生を受け入れています

国際貢献の一環として、海外研修生の受け入れを行っています。国土交通省やJICA(国際協力機構)等と連携し、アジア、アフリカなどの開発途上国を中心に毎年100名以上の研修生を受け入れています。研修生の受け入れは、海外諸国との友好関係の構築にも役立っています。



JICAインフラ災害対策コース研修

国内道路事業とのシナジーの追求

橋梁非破壊点検技術等の活用や海外道路PPP事業 [□](#) によって得られる性能規定等の様々なノウハウについては、国内道路事業にフィードバックすることによって、[シナジー効果](#) [□](#) や当社グループ全体の技術力向上を図っています。たとえば、NEXCO-West USA Inc.の技術支援によって、NEXCOエンジニアリング中国が地中レーダー（GPR）の導入をこれまでに実現しています。

中長期的には、海外事業の拡大にもつながるよう、取り組みを推進しています。



社会 ノウハウを活かした新たな事業

高速道路管理のノウハウを活かした業務受託

地方自治体等が管理する道路で、交通管理や構造物・設備の管理・保守・点検を受託しています

2014年度は、公社が管理する橋梁点検及び補修検討について受注しました。また、高速道路を橋でまたぐ[跨道橋\(OV\)](#) についても、管理する地方自治体から点検・修繕工事を受注しています。

2015年度も、これらの業務の継続受注とともに、新規路線の受注を目指し、高速道路管理で培ったノウハウや技術を活かした業務を提案・実施していきます。



橋梁点検業務



ETC  保守業務

▼道路管理に関する主な業務受託

有料道路	業務内容
南阪奈有料道路 ※大阪府道路公社管理区間	土木維持管理(土木清掃・雪氷対策・維持修繕)、施設保守業務、ETC保守業務、ETC設備更新設計、料金收受業務
堺泉北有料道路	ETC保守業務、ETC設備更新設計
京都縦貫自動車道 ※京都府道路公社管理区間	ETC保守業務、ETC予告アンテナ新設
ながさき出島道路	トンネル側壁清掃、トンネル排水施設清掃
福岡前原有料道路	ETC保守業務
広島高速道路	橋梁点検

一般道路	区間	業務内容
小郡菟道路 (一般国道490号)	美祢東JCT～絵堂IC	道路の包括維持管理
山口宇部道路		

(県道6号山口宇部線)	朝田IC～宇部東IC	道路の包括維持管理
広島中央フライトロード (県道73号広島空港線、 県道49号本郷大和線)	河内IC～大和南IC	交通管理に関する業務
松江だんだん道路 (一般国道485号松江第五大橋道路)	松江JCT～川津IC	交通管理に関する業務
県道大見吉津仁尾線	三豊鳥坂IC	ICの維持管理

グループの資産・人材を活用した地域貢献

高知県大豊町の観光施設で指定管理者事業、農業事業を行っています

NEXCO西日本グループの資産や人材を活用した取り組みの一環として、NEXCO西日本エンジニアリング四国では、2011年度より高知県大豊町の拠点観光施設「ゆとりすとパークおおとよ」および「道の駅大杉」の指定管理者として、施設管理と農業事業を展開しています。

2014年度は、地域の食害問題に着目したイベント「第3回四国ジビエ  グルメフェスタ2014」の開催や「土佐風土まつり」などの地元イベントへも積極的に出店しました。



ゆとりすとパークおおとよ 全景



「土佐風土まつり」に参加



ジビエグルメフェスタ



出張販売の様子

 [関連ページ](#)

▶ [ゆとりすとパークおおとよ](#) 

一般有料道路の運営事業への参画

NEXCOが保有している維持管理ノウハウで作業を効率化しています(芦有ドライブウェイ(株))

NEXCO西日本グループの芦有ドライブウェイ(株)では、道路の維持管理に豊富なノウハウを持つNEXCO西日本と維持管理協定を締結し、路面やトンネル側壁の清掃にNEXCO西日本の保有車両を使うなど、業務の効率化を図っています。トンネル側壁の清掃では、延長約1kmを人力の場合2週間近くかかっていたものが、1日足らずで効率的に実施することができ、捻出された時間を他の作業時間に有効に活用しています。



芦有ドライブウェイの四季(春)



路面清掃車



東六甲展望台からの眺望



奥池あそびの広場

■ 関連ページ

▶ [芦有ドライブウェイ\(株\)](#)



地域と共存し、地域の発展に貢献する有料道路を目指しています

NEXCO西日本とDBJ(日本政策投資銀行)が参画した一般自動車道「芦有ドライブウェイ」は兵庫県芦屋市と有馬温泉(神戸市北区)を結ぶ10.7kmの路線です。1社で料金収受・交通管理・点検・維持作業を実施しており、まさしくNEXCOのコンパクト版といったところです。

開通後50年以上経過した道路であり、今後の維持補修では、NEXCOのノウハウがさらに有効になってくると考えています。また、有料道路の経路内に住宅地が存在し、住民の皆さんが普段から生活道路として利用されていることから、地域と共存し、地域の発展に貢献す

る有料道路を目指しています。

当社道路内には、バーベキューやグラウンド・ゴルフが楽しめる奥池あそびの広場と、大阪平野を一望できる東六甲展望台があります。ぜひ一度お越し下さい。



(株) 事業部長
和田浩明